

知っておきたい 体型による影響と 解剖学的バリエーション —心電図・超音波検査編

forward

日常の生理機能検査を行うなかで、右胸心や馬蹄腎など、さまざまな解剖学的バリエーションに遭遇することがあります。こうしたバリエーションに出合った時に通常とは異なると認識できることは、正しい検査結果を出すうえで重要です。

そこで本特集では、心電図検査と超音波検査を行う際に比較的遭遇する可能性が高い解剖学的バリエーションや体型による影響について、検査を行う際のコツや画像の特徴、注意点などをご紹介します。今後の業務の一助となれば幸いです。

(編集部)

-
1. 心電図検査における体型による影響と解剖学的バリエーション
 2. 心臓超音波検査における体型による影響と解剖学的バリエーション
 3. 腹部超音波検査における解剖学的バリエーション
 - 1) 肝臓・胆道・脾臓
 - 2) 腎・尿管・膀胱
 - 3) 子宮・卵巣
 - 4) 腹部血管
 4. 表在超音波検査（乳房・甲状腺）における解剖学的バリエーション
 5. 血管超音波検査における解剖学的バリエーション
 - 1) 頸動脈
 - 2) 下肢動脈・下肢静脈
-